



照屋 仁士 議員

城間町政5期 20年の課題は

答 公約は達成したと自負している

問 5期20年、町政発展に取り組まれたことを評価する。勇退するに当たり、やり残した課題はあるか。

町長 公約は達成したと自負している。しかし、日々変化し山積する行政課題と住民ニーズを100%解決することとは困難である。

問 町民との対話が少ない。行政懇談会も少ないし、情報発信もホームページと広報誌では十分とは言えない。町長はどう考えるか。

町長 対話してきたつもりである。

問 財政が心配である。中期財政計画では、平成34年度までに約30億円弱も削減をする。その中で町税を増やしていく取り組みは示されていない。町長はどう考えるか。

町長 財政が厳しい中、企業参画のもと、地域づくりに取り組んでいる。ご理解をお願いしたい。

問 今後のまちづくりが心配との声がある。近隣では大型MICEや鉄軌道が議論される中で、南風原町では何に展望を見出すかと町民に聞かれる。町長の見解を問う。

町長 昨年、策定した第五次南風原町総合計画を達成することが責務である。MICE、鉄軌道などは沖縄県全体的な問題だ。



▲第五次南風原町総合計画

町長 東部消防組合の負担金は前年並みを確保している。ご理解をお願いしたい。

問 建白書の実現、辺野古新基地建設阻止なのに、なぜ政治姿勢と矛盾する候補者を応援してきたのか。今後はどうしていくのか。

町長 町の利益につながる行動をした。私は一貫して矛盾していない。高所大所から考えていきたい。

問 町長の言う利益、政府と繋がっているとゆうことで予算が潤沢に流れてくる、そういうことが含まれているのか。

町長 予算をもらうだけでなく、情報提供してもらうのが、町の発展につながる。

問 町民の命と財産が心配である。町長は、「予算が足りなければ、人件費も考えないといけない」と答弁した。厳しい財政は理解できるが、町民を守るため、是非、消防力を強化すべきと考えるがどうか。

こんな質問もしました

○期日前投票の場所を町民ホールへ変更できないか。